

【連載】※月1連載 船釣りの作法

釣技
食技

其の八 大分県杵築市納屋港出船

アジを食わせて大型魚を狙う 高橋哲也の落とし込みin大分

大分ではアミコマセでアジを釣って落とし込む



西日本、九州を中心に絶大な人気を誇る「落とし込み」は9〜12月のイワシが回遊してくる時期が一般的ながら、冬〜春の低水温期も楽しめる。大分県別府湾周辺ではアジをエサに、ブリ、ヒラメ、マダイ、オオニベなどを狙うことができ、当地の船では周年、希望があれば出船してくれる。「まずはエサを付けなくちゃいけません」

んが、大分の落とし込みは、アミコマセを使ってアジを釣るのが特長です。様々な釣りを経験している高橋哲也さんも、当地の落とし込みは初めて。とはいえ下カゴのサビキ釣りは手慣れたもので、着実にアジを掛けていく。ところが、青物やヒラメなどの捕食者は反応しない。水深60メートルを皮切りに90、100メートルとポイントを探っていくものの、場所によってはアジの食いも芳しくない。

そんな中、高橋さんは仕掛けを試し、コマセの振り方を変え、常に何かを工夫し、欠かさず投入合図で仕掛けを入れる。

○高橋哲也 沖縄県在住。全国各地の磯、船釣りの世界で多くの大型魚を仕留めてきた。単に釣るだけでなく、広い目で海を見るカリスマアングラー。

